

『学校だより』令和3年度6月号

在籍数：小学部7名，中学部2名 合計9名

Escuela Japonesa de Panamá

パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 269-4726 FAX: 264-4751

E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp http://panama.lolipop.jp/



学校教育目標

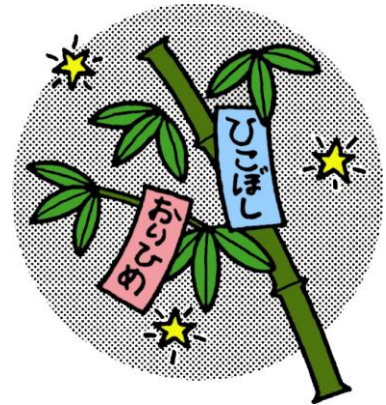
豊かで調和のとれた人間性を持ち 国際感覚を身につけた 心身ともに健康な児童生徒の育成

パナマ日本人学校 校長 小坂 誠二

まもなく6月も終わります。まさにパナマも雨季真っただ中になっています。

そのような時に、一時帰国していました児童生徒が日本から戻ってきてくれました。これで、全員パナマで勢ぞろいとなりました。残念ながら一時帰国していました児童が5月31日をもって帰国先の学校へ正式に転入となりました。学校が開かない今、以前のように迎える会や送る会ができず、ひとまずここでのお知らせとなりますことをご了解ください。

先に戻ってきた生徒もそうですが、1年間見ないうちに大きくなってパナマに来てくれたことを本当にうれしく思います。人間の成長過程において、この義務教育期間は成長著しい時期です。勉強の幅広さ、おもしろさを知り、どんどん吸収していく時期です。このような時に僅かでもお子さんと時間を過ごし、ともに成長を見届けられることは我々教員にとってもこの上ない喜びにつながっています。来月は個人懇談も予定されていますので、遠慮なくご相談いただければと考えています。



学校再開が見えてきました。

現在6月上旬にパナマ教育省へ学校再開のためのプロトコルを提出、受理され、再開認可の知らせを待っているところでした。

昨日、6月28日に保健省からの訪問連絡が入り、12時から1時間校内の感染症対策状況や学校施設使用上の注意等を受けました。この後一部の改善箇所を報告しますと、それが教育省へ送られ、許可と見込みです。開始日時が決まりましたらメールでお知らせしますので、その時にはどうぞよろしくお願いいたします。

ただ何事も遅れ気味の国情に加え、再開申請の学校が増えていたり、このところ感染者数が1000人を超え始めていたり、条件が厳しくなっていることもあります。夏休み前に数日でもいいからという期待を持ちつつ、しばしお待ちいただければと思います。

このような時、唐招提寺の第89世長老（住職）に就任した岡本元興（げんこう）師の次のようなことばに出会いました。「仏教では経典を読み、教義を学ぶことはもちろんですが、最後の最後は師から弟子に面と向かって教えを伝える『面授（めんじゅ）』が大事。『仏法はひとり伝わらず、人から人に伝わる』と申します。人と人が顔を合わせ、思いを伝えることが重要なのです。そうした出会いは人生の醍醐味（だいごみ）であり、生きる糧（かて）にもなります」と。



我々教師も子どもたちと面と向かい、自然や社会のしくみ、芸術や文化を題材に、その中から真善美を追い求めていく。そういった活動から、子どもたちを鍛え、育んでいくものと考えています。早く対面授業ができますことを願って・・・合掌。